



環境・社会報告書

2012



日本飛行機株式会社



## ごあいさつ

2012年6月に日本飛行機株式会社の代表取締役社長に就任いたしました早野幸雄です。「環境・社会報告書2012」の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災は、わが国のエネルギー政策の根幹を見直すべき大きな契機となりました。これまでの原子力エネルギー依存から再生エネルギーの利用促進、エネルギー省力化の推進と社会的要請が変化しており、エネルギー政策を通じた環境保全への取組みも見直しが必要と感じています。

私たち日本飛行機も、従前からの「地球環境の保護」の基本理念の具体的展開を今一度見直し、改めて環境目的及び環境目標を定めてまいります。

環境マネジメントシステムの単なる運用ではなく、生産活動と環境保全活動の調和を意識し、社員一人ひとりが知恵を出し合い、更なる環境負荷低減を推進していきたいと考えております。

今後も、この豊かな地球環境を守り続けることの重要性を改めて認識し、持続的発展可能な社会の構築に向けて事業活動を進めてまいります。



取締役社長 早野幸雄

環境管理総括者から一言申し上げます。

ステークホルダーの皆様のご期待に応え、社会との共生を図る企業として永続すべく、日本飛行機は経営理念のもとに「行動規範」を制定し、コーポレートガバナンス、コンプライアンスの徹底と共に、CSR（企業の社会的責任）への取り組みを推進しております。

環境保全においても、今年度新たに「環境方針」を制定し、「持続的発展可能な社会の構築に向けて、地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する」という基本理念の下、資源・エネルギーの有効利用、事業活動における環境負荷の軽減等を図り、企業活動と環境の調和に努めています。そして、この素晴らしい地球環境を未来の人々に引き継いでいきたいと願っています。

ここに当社のそうした活動内容をまとめた「環境・社会報告書2012」を作成いたしました。

私どもといたしましては、この冊子をステークホルダーの皆様との重要なコミュニケーションツールの一つと考えておりますので、是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

また、皆様からの忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。



取締役 松本真人  
(環境管理総括者)

## 環境方針

### 基本理念

日本飛行機株式会社は、航空宇宙の分野で製造と整備を核に高品質の製品・サービスを社会に提供する専門企業である。当社は、地球環境問題が次世代以降にも及ぶ社会構成員総てに関わる最重要課題の一つであることを認識し、持続発展可能な社会の構築に向けて、あらゆる面で地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する。

### 基本方針

1. 製品の研究、開発、設計、製造、修理、整備を中心とした事業活動が地球環境に与える影響を的確に捉え、使用資源・エネルギーの有効利用、環境汚染物質並びに廃棄物の分別・処理の適切な管理及び削減を通じて地球環境の保護と地球環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動に当たっては、環境に影響を及ぼす活動、製品及びサービス（以下、環境側面と呼ぶ）に関連する国際条約、法律、規則及び協定等を遵守する。
3. 全社の環境側面並びに法的要求事項等から環境目的及び環境目標を定め、定期的に見直すことにより、継続的に環境保全活動の質の向上を図る。
4. 環境教育により社員及び当社のために働くすべての人の環境保全活動に対する理解と、環境に関する意識向上を図る。
5. 環境保全などの活動に地域社会の一員として積極的に参加すると共に社員及び当社のために働くすべての人の参加を推奨し、支援する。
6. この環境方針を実行し、維持すると共に社員及び当社のために働くすべての人に周知する。また、この方針は外部からの要求に応じ随時提供できるものとする。

## 事業活動による環境負荷

### インプット

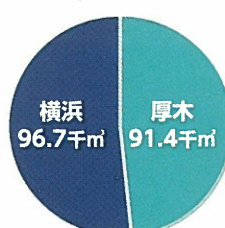
エネルギー（原油換算）  
8,135 kℓ



PRTR届出対象物質  
39.8ton



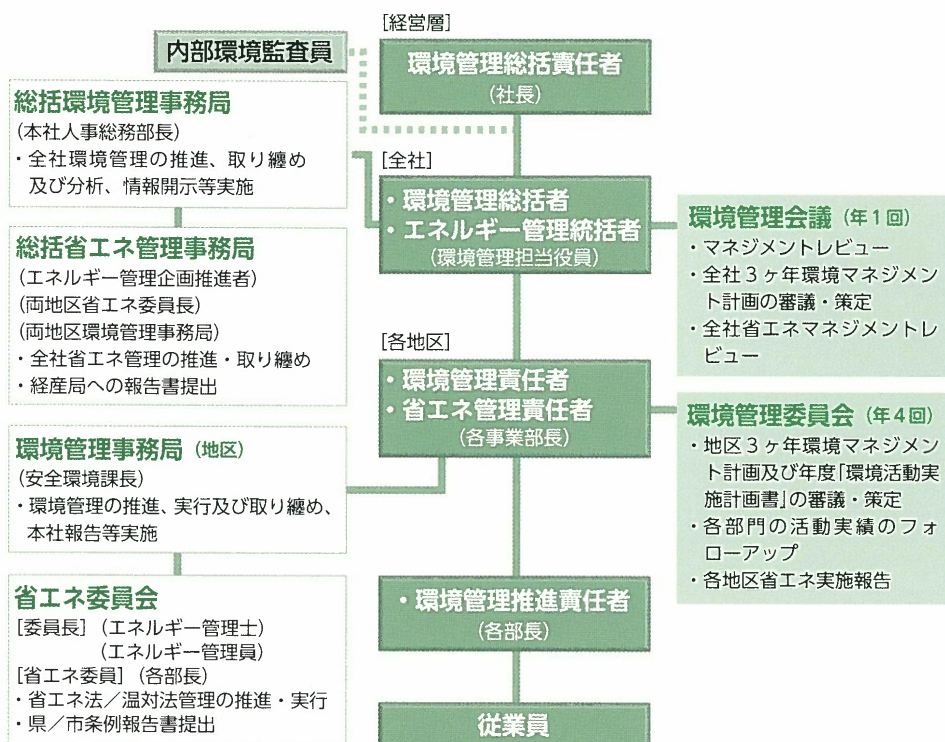
水質資源  
188.1 千㎡





# 体制

私たちは「環境管理総括責任者」(社長)をトップとした体制を構築し、環境負荷軽減に向けた取り組みを推進しています。



会社全体としては、「環境管理総括者」(担当役員)を議長とする「環境管理会議」を毎年開催しています。3ヶ年活動実施計画の策定及び評価を行い、運用状況をチェックすることによって、環境負荷軽減に向けた仕組みが効果的に機能している事を確認しています。

横浜と厚木の両事業部は、「環境管理責任者」(事業部長)を議長とする「環境管理委員会」を毎年3ヶ月毎に開催しています。年間活動実施計画の策定及び評価、法令遵守状況の監視等を行う事によって、地区における環境保全活動を推進し、環境負荷の軽減に取り組んでいます。

# 活動の状況

## 地域社会との関わり

各地域における工場周辺の環境美化を目的に、清掃活動として工場周辺・一般道やその周辺のゴミ拾いを実施しました。

近隣地域の清掃をする事により、地域社会への貢献と、改めて“分別・削減・マナーの向上”について従業員一人ひとりが自覚し、身の回りから地球環境への意識向上に心掛けております。

### 横浜地区工場周辺の清掃活動



### 厚木地区工場周辺の清掃活動



## アウトプット

|      |                 | 横浜地区                | 厚木地区                |
|------|-----------------|---------------------|---------------------|
| 大気放出 | CO <sub>2</sub> | 10,857ton           | 2,570ton            |
|      | PRTR 届出対象物質     | 7.5ton              | 11ton               |
| 廃棄物  | 一般廃棄物           | 32ton               | 33ton               |
|      | 産業廃棄物           | 494ton              | 173ton              |
|      | 特別管理産業廃棄物       | 433ton              | 1未満ton              |
| 水系排出 | 下水              | 42.6千m <sup>3</sup> | 19.6千m <sup>3</sup> |
|      | 河川等             | 39.1千m <sup>3</sup> | 71.8千m <sup>3</sup> |
|      | COD*1           | 1未満ton              | 1未満ton              |
|      | BOD*2           | —ton                | 1未満ton              |

\*1 化学的酸素要求量 \*2 生物化学的酸素要求量

## 関連業界や地域からの情報、苦情及び法令遵守状況

2011年4月～2012年3月の期間中で、法令違反、行政処分、苦情等はありませんでした。今後も法令を遵守し、地域環境に配慮した事業活動を推進します。



## 田 地区別活動報告

### 横浜地区 (本社、航空宇宙機器事業部)



**所在地** 神奈川県横浜市金沢区昭和町 3175  
**土地面積** 151,575 m<sup>2</sup>  
**事業内容** 航空機部分品、標的システム、ロケット部分品、宇宙機器の製造

#### ●主な環境活動内容

| 実施項目         | 目標                          | 実績                           |
|--------------|-----------------------------|------------------------------|
| エネルギー原単位の削減  | 0.360kl/百万円<br>2005年度比 6%削減 | 0.292kl/百万円<br>2005年度比 23%削減 |
| 一般廃棄物の削減     | 2009年より運用管理に移行済み            |                              |
| 汚染防止のための設備更新 | 3 件                         | 実施 2 件                       |

※エネルギーの原単位：(電気、燃料などのエネルギー総量)/売上高

全社的に活動内容を評価しますと、3ヶ年計画内では目標を達成しました。  
 年度ごとに見ると、未達成項目がありますが、関係部署毎にデータの集計を把握する協力を推進し、今後も継続的に改善を推進していきます。

### 厚木地区 (航空機整備事業部)



**所在地** 神奈川県大和市草柳 2-28  
**土地面積** 67,918 m<sup>2</sup>  
**事業内容** 航空機の修理、整備及び改造

#### ●主な環境活動内容

| 実施項目         | 目標             | 実績    |
|--------------|----------------|-------|
| エネルギー原単位の削減  | 2009年度比<br>2%減 | 5.5%増 |
| 一般廃棄物の削減     | 2009年度以下にする    | 49%減  |
| 汚染防止のための設備更新 | 1 件            | 1 件   |

## ♡ 環境活動

本社ビル1Fと5FにLED照明を導入しました。



充電式電動エレクトラックを導入しました。



- この印刷物は、「FSC 認証紙」と VOC (揮発性有機化合物) 成分含有率 1% 未満の「VOC フリーインキ」を使用し、廃液で環境を汚さない「水なし印刷」を採用しています。
- 印刷は、風力で発電された「グリーン電力」100%(78kWh) でまかなわれています。
- デザインは、配色や文字の大きさ、使用フォントなどで見やすさを追求した「MUD (メディア・ユニバーサル・デザイン)」仕様としました。



日本飛行機株式会社

〒236-8540 神奈川県横浜市金沢区昭和町3175  
 TEL : 045-773-5100 FAX : 045-773-5102

<http://www.nippi.co.jp>

※本書の内容は弊社のホームページでもご覧いただけます。